



この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~

【まち協だより】

令和6年10月号

電話(FAX) 82-0933

発行:山上まちづくりの会事務局

【今年の小地域懇談会の日時が決まりました。ぜひご参加ください。】

- ・福寿実自治会小地域懇談会：10月17日(木)18時～ 潤谷集会所
- ・茶屋自治会小地域懇談会：10月26日(土)10時～ 細屋公民館
- ・笠木自治会小地域懇談会：10月27日(日)10時30分～ 大原集会所
- ・福万来・佐木谷自治会小地域懇談会：11月17日(日)13時～ 福万来集会所

『誰もが自分らしく過ごせるために・性の多様性から考える』をテーマにDVDを観賞して話をします。高校生以上の誰でもご参加をお待ちしています。

【令和6年度の山上まちづくり懇談会 12月上旬開催予定です。】

●今年のテーマ:今後の日南病院のあり方について

日南町のまちづくりの核の一つとなる日南病院の整備移転について、懇談をしようと思います。山上地域振興センター第3会議室を会場に、町長・副町長・担当課長と懇談します。たくさんのご参加をお待ちしています。日時が決まりましたら広報山上でお知らせします。

【日南町総合防災訓練】



10月6日(日)日南町総合防災訓練を行いました。今年は元旦の能登半島地震を受け震度6強の地震が発生したとの想定で訓練をしました。刻々と入ってくる災害状況や避難状況を携帯電話とパソコンで山上本部や役場本部へと伝達する訓練をしました。自衛消防の皆さんは2時間弱で地域巡回を終了しました。お疲れさまでした。

※日南あんしんキットは山上地域振興センターで予備を持っています。情報の書き換えなどありましたら、中に入っている用紙の予備もありますのでご連絡ください。

【行事予定】地域振興部事業 ホタルの国秋の草刈り 11月9日(土) 9時～

【おしらせ】令和年度交流活性化交付金について。各団体等で交付金を活用したい旨があれば、地域振興センターまでお問い合わせください。

信義 信愛 勤勉を

目標に 10 後編

子ども達に正直で親切でよく働く人間に育ってほしいと願ったのは岩雄の心の中に尊敬する二宮尊徳の姿があったからです。二宮尊徳は、江戸時代の人で儉約と勤勉と工夫とで貧しい人々を助けた人といわれている人です。

山上村は、農業を中心とした山の村で、昔から稲作と山仕事を中心に暮らしを立ててきました。この地方は明治の終わり頃までは砂鉄の産地で、たたら（日本の古くからの製鉄法）に使う木炭を焼いたり運んだりする仕事が多くあって景気が良かったのですが、外国から鉄を輸入するようになって仕事が減り、めっきり暮らしが苦しくなっていました。

子ども達が安心して勉学に打ち込めるようにするためにも、何とか村の人々の生活を豊かなものにしなればと思うのですが、その度に、二宮尊徳のことが思い出されるのです。村の人々に節約を呼びかけるとともに、炭焼きの収入に代わるものとして養蚕のやり方の工夫や紙の原料になるミツマタという木の植樹、機械によるはた織りの講習などを試みましたが、それは、子ども達に村を

愛する心、学校を愛する心を育てたいと思う気持ちにつながっていました。

また、岩雄は、子ども達に人間としての生き方を教えたいと考えていましたが、それは、ただ頭で知っているだけではなく、実際にできるようなことが大切だと思っていました。ですから、子ども達にもできるように詳しく、そのやり方を教えるようにしていました。例えば、掃除の仕方にしても、ほうきを持ち方、雑巾の絞り方まで詳しく教えるのです。時には子ども達と一緒に便所を磨いていることもありました。

学校では先生も子どももいつでもどこでも、顔見知りの人はもちろん、旅の人にも挨拶をする約束にしましたので、旅の人や行商に来る人からも「この学校のように子どもさんがよく挨拶してください学校はないです。本当に嬉しいですよ。」と喜ばれました。

「山の村は寂しい。道をとぼとぼ歩いている人にひと声かけてあげればそれがどんなに嬉しいことに感じられるか。だから見知らぬ人にもひと声かけて挨拶してあげよう。」と、さとす岩雄の言葉は、砂にしみいる水のように子ども達の心の奥底に届いていき、やがて村のならわしともなっていたのです。



こうして岩雄を中心とした全員の先生方の心を一つにした取り組みは、やがて認められて、明治39年3月、県の模範校として県より表彰を受けることになりました。岩雄が33歳の時のことです。